



# 協力会だより

第44号

発行 山梨県立考古博物館協力会  
発行日 令和2年4月11日発行  
ホームページ [www.y-kyouryokukai.jp/](http://www.y-kyouryokukai.jp/)

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923  
電話 055-266-3881  
f @kyouryokukai.kouko

## 『平成』から『令和』へ 協力会の1年



### 活動

- 2019・2020年度考古博物館協力会委嘱状交付式  
2019年度考古博物館協力会総会 (4/13)
- ミュージアムショップ
- ボランティアガイド (4~12月)
- 学校勾玉作り・火起こし体験補助 (4~12月)
- こどもまつり (5/3・4)
- 特別展準備作業 (9/24・25)
- 第37回特別展「縄文文化の頂点」 (10/2~11/24)
- 常設展復旧作業 (11/28・29)
- Jomon FES 2019-山梨縄文まつり- (10/27)
- 県民の日イベント「縄文とあそぼう！」 (11/20)
- お正月イベント (1/3)

### 研修

- 勾玉作り、火起こし体験研修 (4/18・27)
- ボランティアガイド研修 (前期: 6/16・20)  
(後期: 7/30・8/11)  
(実習: 2/19・22)
- 春季企画展勉強会 (5/15・25)
- 夏季企画展勉強会 (7/30・8/11)
- 特別展勉強会 (10/6・9)
- 冬季企画展勉強会 (12/15・18)
- 県内研修 (12/14)



## 2019・2020 年度山梨県立考古博物館協力会委嘱状交付式 2019 年度山梨県立考古博物館協力会総会



4月13日(土)、風土記の丘研修センターにて山梨県立考古博物館協力会委嘱状交付式および総会が開かれ、1年間の協力会活動がスタートしました。

委嘱状交付式では、85名の協力員のみなさんに委嘱状が交付されました。また、10年・20年の長い間、協力員を務めていただいている8名の方々に永年感謝状が贈呈されました。

総会では、今年度の事業等の話し合いの他に、昨年度ボランティアガイドとして数多くの活動していただき、実績を積まれた方に、ボランティアガイドマスター証の授与がありました。

記念講演会では、4月から新たに考古博物館の館長に就任された、高橋龍三郎館長にご講演をいただきました。『縄文社会研究にはたす山梨県遺跡の役割』と題して、山梨県下の縄文中期から縄文後晩期にかけて、どのような社会変動が起こったのかについて興味深いお話を聴くことができました。

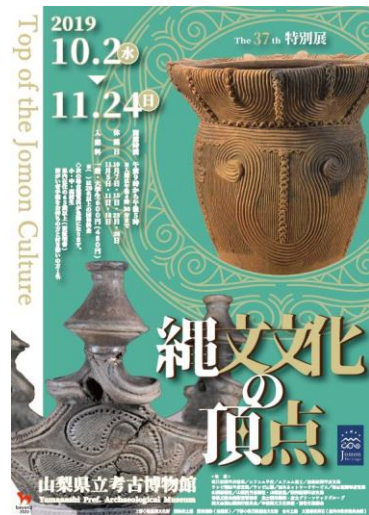
新たに23名の新協力員さんを迎え、新しい体制での協力会がスタートしました。



### 考古博物館 第37回特別展 「縄文の頂点」

10月2日(水)～11月24日(日)の期間、第37回特別展『縄文文化の頂点』が開催されました。46日間の会期中、県内外から多くの方にご来館いただき、入館者は6,300人を超えました。期間中、ショップ、監視、常設展の受付などで毎日、協力員さんが活躍しました。大きな台風の影響があったり、当番の人数が少ない日もあったりしましたが、協力員のみなさんの“笑顔のおもてなし”のおかげで来館者の方々にも満足して帰っていただくことができました。

また、特別展の会期前後の常設展の移動や撤収作業、そして、復旧作業では、毎年、協力員のみなさんが活躍しています。今年もたくさんの方々にご協力をいただきました。当館ならではの活動ですが、作業中には、貴重な文化財に触れていただく場面もありました。



特別展勉強会の様子



とても重い展示物も移動します



慎重に運んでいます



## 写真とともに振り返る 1年間の活動の記録

### 5/3(金・祝)・4(土・祝) 第31回風土記の丘こどもまつり

火起こし体験や狩猟体験、勾玉作り、クラフト体験など、多くの子供たちが来て楽しんでくれました。



### 10/27(日) Jomon FES 2019 ー山梨縄文まつりー

今年で4回目の縄文王国山梨のイベント。甲府駅北口で多くの方々に山梨の縄文の魅力伝えました。



### 1/3(金) お正月イベント「考古博 de お正月」

「おせちもいいけど考古もね！」考古博物館ならではの正月遊びを楽しんでもらいました。



### 学校見学対応(勾玉作り・火起こし体験補助、ガイド等)

小中学生が学校見学で来館した際には、勾玉作り・火起こし体験の補助、展示のガイドをしました。





# 県内研修 12/14

研修地：武田氏館跡・信玄ミュージアム（甲府市）

今回の県内研修は、21名の方が参加し、国史跡の武田氏館跡と2019年4月にオープンした信玄ミュージアム（武田氏館跡歴史館）で研修を行いました。講師を信玄ミュージアムの佐々木館長にお願いし、信玄ミュージアムと武田氏館跡を実際に見学しながら解説をしていただきました。



信玄ミュージアムは、初めて行く方も多かったようです。武田氏三代を始めとする武田氏館跡に関わった人々の歴史や移り変わり、館跡の概要や見所、そして、戦国時代に武田氏領国の中心として栄えた「甲府」の様子について学ぶことができました。

武田氏館跡では、普段は何気なく通り過ぎてしまうようなところも、丁寧に説明をしていただくことで、その歴史や役割を知ることができました。作業はお休みでしたが、発掘調査中の場所も見学でき、充実した研修となりました。

## 【協力員さんの研修記】★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 藤原 由香さん

今年度から協力員になった私は、初めての県内研修でした。信玄ミュージアムでは佐々木館長さんの説明を聞きながらの見学、特別展示室では10分程度の映像を見ました。館内には発掘調査で出土した石列の一部が残されており、この石列の方向や富士山の位置等を意識してミュージアムが建築されていると知り、感動しました。

隣接する旧堀田家住宅も見学し、最後は武田氏館跡の見学でした。20年以上前、武田氏館跡味噌曲輪の発掘調査にアルバイトで関わっていた私は、西曲輪の北枡形虎口から正面に現在調査進行中の味噌曲輪を見た時、懐かしい気持ちでいっぱいでした。

協力員の皆さんと会話をしながらの見学はとても楽しく、あっという間に時間が過ぎました。事務局の皆さん、ありがとうございました。今後も、こうした研修を続けて頂きたいと思います。

### 三浦 秀明さん

甲府に住んでいながら信玄ミュージアムは初めて行きました。寒い中での研修に後ろ向きな気持ちでしたが参加して本当に良かったです。館長の案内及び絶妙なレクチャーがあったにしても感動モノでした。施設その物も新しいことありますが一般見学ではありえない躰躰ヶ崎館跡見学説明も含め、信虎、信玄、勝頼と武田家の栄枯盛衰をはかり知ることができました。いつもながら感じ思うことは若い時分に歴史の勉強をもっとしておけばよかったことです。語り継がれている出来事でも現代でこそ分かった事実もありフィクションとはいえ、昔に思いを馳せることは本当に楽しいことです。

**梶 月美さん**

4月にオープンした信玄ミュージアムは、説明されなければ気がつかない当時の様子を偲ぶ設計でできていました。甲府の生い立ち、地名、寺、神社など漠然としていたものが少し理解できました。

武田神社というイメージが強い所でしたが、改めて武田氏の館跡であることを認識しました。信虎が川田から居住しなかったら今の甲府は？

再度、ゆっくり見学してみたいと思います。



佐々木館長さんの話を熱心に聞く



来館記念のスタンプが大人気



大手馬出での説明

**田丸 進さん**

山梨の歴史に欠くことが出来ない武田氏について、展示品や資料からでは知り難い事を、躑躅ヶ崎館跡や城下町の発掘状況を交えて説明してもらえ、楽しく研修出来ました。

**山縣 仁美さん**

身近な武田神社とその周辺を新しい“信玄ミュージアム”の館長さんじきじきに案内してくださり、とても勉強になりました。この場所は、武田氏の館跡だとは知っていましたが、いろいろな遺物や歴史をご説明していただいて史跡だという実感がわきました。また大勢の参加があり、日頃なかなかお会いできない他の協力員さんとの交流の機会にもなり、楽しいひとときでした。



発掘調査中の味噌曲輪馬出の見学



模型やパネルを見てじっくり学ぶ

**内藤 敏夫さん**

甲府盆地一望の武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）に集合しました。佐々木館長より丁寧な説明を受けました。歴史館が穴山梅雪の館跡にあることや武田氏館跡の実踏では、信玄が二度と戻れなかった大手門。信玄の長男義信誕生により主郭の一角に居住区が設けられ、さらに、やがて西郭に義信家族の住まいが設けられたことなどの説明を受けました。親子の意見の対立から東光寺に幽閉され、死去した武田家の跡継ぎ「義信」。過ぎさりし歴史の悲しさを感じました。協力員が多数参加の楽しい研修でした。分かりやすい研修資料や引率等、事務局職員の皆さんに感謝致します。次回の研修も楽しみにしています。





## 学びの輪 ～勉強会・研修会～

### 【勾玉作り・火起こし体験研修】

小中学生が考古博物館へ見学に来たときには、勾玉作りや火起こし体験をよく行います。大人数が体験するときには、協力員さんも体験の補助に入ってくれます。そのときのために、手順やコツをつかめるように実際に体験して、学んでいます。



### 【特別展・各企画展の勉強会】

特別展や各企画展の会期中に、勉強会を開いています。参加した方々は、学芸員の解説を熱心に聞き、メモをとったり、質問したりして、毎回、活発な勉強会になっています。



### 【ボランティアガイド研修】

ボランティアガイドとして、展示の案内をしたり、来館者の質問に答えたりするために、年に3回、研修会を開いています。ガイドになろうとする方や、すでにガイドをされている方が参加し、考古学や展示物に関する知識を学んでいます。



いつも素敵な作品をありがとうございます！



原田 みゆきさん作



山地 千恵子さん作



北村 正仁さん作

#### 【編集後記】

新しい時代「令和」に新しい体制でスタートした協力会でしたが、令和元年度もたくさんの方への協力ありがとうございました。今回は、県外研修が中止となり、ページ数もいつもより少なくなりましたが、活動の様子をまとめました。協力員のみなさんには、1年間を振り返っていただくとともに多くの方々に協力会の活動を知ってもらえれば幸いです。  
(事務局)